

たんぽぽ

2017.2.1



冬のお楽しみ会を開催

1月13日（金）に「冬のお楽しみ会」が開かれました。

はじめに、病棟の保育士さんから「十二支のお話」という物語の朗読があり、十二支の中に「どうしてネコがないのか?」「どうしてネズミが1番目なのか?」など、物語とはいえ、子どもたちは「なるほど!」という様子で聞き入っていました。続いての「コンコン クシャン」というお話では、ペープサートを使った「動物や鳥がカゼをひいたら、どんなマスクをするでしょう。」の問いかけをきっかけに、子ども達一人一人に語りかけたり、歌を交えたりしながら話を進め、子どもたちにとって楽しい時間になりました。

北里学級も協力させていただいた「ぬりえコーナー」には、ジバニャン、ドラえもん、ミッキーなど、子ども達に人気のキャラクターや幼児向けのかわいいぬりえ、大人向けの「リラックス塗り絵」も準備されました。一人でがんばる子、お家の人と一緒にがんばる子、黙々と熱中するお母さん。どの顔も真剣な眼差しでした。

子ども達だけでなく、保護者の方々にも楽しんでいただける「冬のお楽しみ会」になりました。塗り絵の作品は、わくわくルームに掲示してあります。



北里大学に水族館?!



北里大学構内の北側に位置する「MB号館」に、ミニ水族館「北里アクアリウムラボ」があります。この水族館は、博物館の学芸員や水族館の職員をめざす、北里大学海洋生命科学部の学生さんたちが運営しているようで、最初の計画では岩手県大船渡市の三陸キャンパスでオープンする予定でしたが、東

日本大震災の被害にあったため、相模原キャンパスに移転してオープンしたそうです。(HPより)

館内には、クラゲ、ヌタウナギ、カサゴ、グソクムシなどの海洋生物を中心に展示されています。専門的な展示内容で、来館者の目を楽しませてくれています。現在、タツノオトシゴが特別展示されています。

毎週木曜日に行われる北里学級の構内散歩では、水族館に必ず立ち寄っています。子どもたちの心を和ませ、今では散歩コースに欠かせないところとなっています。



北里大学病院周辺の施設(史跡)紹介 ~その⑤~

< 淵野辺公園 >

北里大学病院の北、車で10分ほど行ったところに「淵野辺公園」があります。そこには、かつて旧陸軍機構整備学校が置かれていましたが、戦後間もなくアメリカ軍に接収され、「キャンプ淵野辺」として使用されてきました。主に通信基地としての機能を持ち、たくさんの細長いアンテナが立ち並んでいました。夜になると、先端に取り付けられた赤いランプが無数に浮かび上がり、異様な光景がみられたそうです。

1974年(昭和49年)、アメリカより広大な敷地が全面返還され、国の利用地、地元の利用地、将来に向けての保留地に三分割されました。地元利用地には、淵野辺公園(園内には、サーティーフォー相模原球場、サブ球場、銀河アリーナがある。)をはじめ、弥栄小学校、弥栄中学校、由野台中学校、弥栄高等学校、市立博物館が建設されました。また、国利用地には、国民生活センター、宇宙航空研究開発機構(JAXA)等があります。保留地は現在、整備・利用計画が進められています。

